歴史と自然があふれる温かいまち
姉妹都市「白石市」へ行こう

問　市民協働課（☎235・4797）

白石・海老名友好親善交流協会では、今年も姉妹都市「しろいし」訪問バスツアーを実施します。

海老名市が白石市と姉妹都市であることは知っていても、「白石市ってどんなところ?」と思う方もいらっしゃるでしょう。そこで今回は、歴史と自然があふれる城下町「白石市」を紹介します。

宮城県の南端

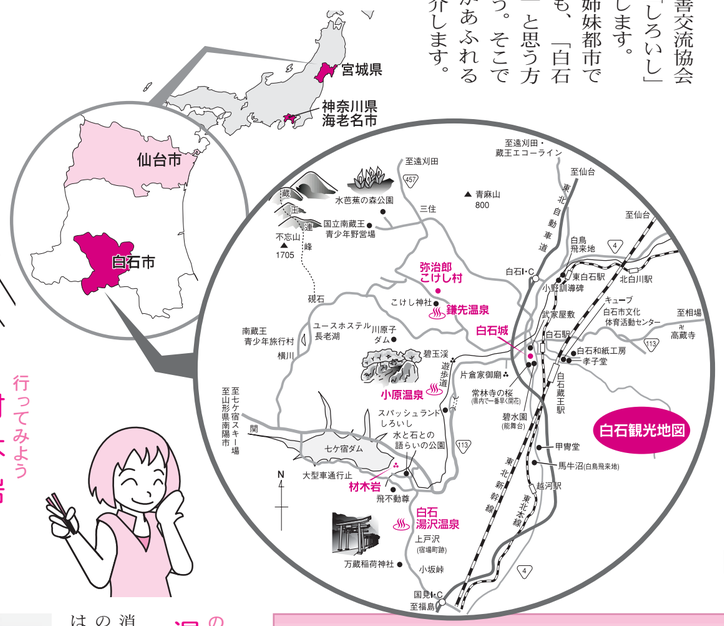
宮城県の南端に位置し、蔵王連峰と阿武隈山系に囲まれた白石盆地に中心市街地が形成されています。仙台市と福島市のほぼ中間にあり、古くから交通の要衝として発展、城下町として栄えました。

面積と人口

面積は本市の約10倍、286・47平方キロ。人口は本市の約3分の1、約4万人です。

新幹線で2時間

東北新幹線で白石蔵王駅まで、東京から約2時間。車では東北自動車道白石インターチェンジまで、浦和インターチェンジから約300キロの距離です。

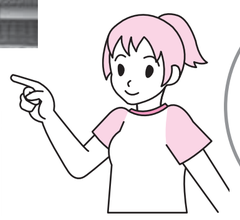


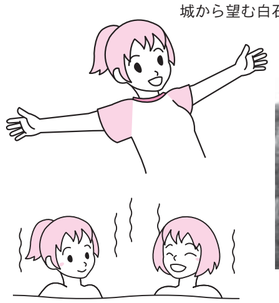
まちのシンボル　白石城

「独眼流」で知られる伊達政宗に仕えた片倉小十郎景綱が居を構えたのが白石城です。明治時代に解体されましたが、平成7年に復元されました。城の近くには武家屋敷があり、見学できます。

城から望む白石市内▶

▲片倉家中武家屋敷





行ってみよう　材木岩

高さ65メートルの柱状の岩が幅100メートルにわたって材木を立ち並べたように連なる岩壁です。昔、飛騨の匠が不動堂の堂舎を建てようとしましたが果たせず、削った材木を川に捨てたところ、岩になったという伝説があります。

のど越しのよい　温麺（うーめん）

小麦粉と塩水だけで作る消化のよい麺です。白石市のきれいな水と澄んだ空気は製麺に適しています。

ゆったり過ごせる　3つの温泉

市内には3つの温泉があります。

●小原温泉

白石川上流のいで湯。緑豊かな渓谷に面した風光明媚な湯の里です。目に効く温泉として親しまれています。

●鎌先温泉

南蔵王不忘山（ふぼうさん）山頂から下った谷あいの静かな温泉郷。神経痛や病後、手術後の保養に効果あるといわれています。

●白石湯沢温泉

300年来、天然自噴している、日本でも数少ない「石膏芒硝泉」です。飲用にも適しています。

絵付けもできる　こけし

この地方伝統の「弥次郎こけし」は、ろくろ模様の大きな頭と胴体が特徴です。「弥次郎こけし村」では、展示されているこけしの見学や絵付け体験ができます。

訪問ツアー参加者募集

姉妹都市・白石市に興味のある方、温泉を楽しみたい方、多くの方の参加をお待ちしています。

▽日程　10月21日（土）～22日（日）1泊2日　▽対象　市内在住・在勤・在学の方　▽募集人数　40人（応募多数の場合は抽選）

※9月中に結果を返信はがきで通知　▽宿泊地　鎌先温泉（4人相部屋）　▽見学地　白石城・碧水園・蔵王のお釜など白石周辺の観光地を予定▽費用　1万5000円（交流協会会員は1万3000円）・小中学生（保護者同伴のこと）は1万円・未就学児は負担なし　▽その他　事前説明会を10月4日(水)に予定。

申　9月20日(水)必着で往復はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記し、市民協働課「しろいし」訪問バスツアー係まで。

※グループで参加希望の場合、代表者名で応募し、参加希望者それぞれについても必要事項を記入してください。

問　同課（☎235・4797）。

分別効果出ています
～排出抑制にもご協力を～

問　資源対策課（☎235・4922）

昨年10月にごみと資源の収集体制を変更してから約1年が経過します。市民のみなさんのご協力により、資源物の回収量が増加、燃やせるごみの量が減少しています。

ごみ8・8％減　資源13・21％増

市が昨年10月から今年6月までに収集した燃やせるごみの量を前年の同時期と比較すると、1436・7トン、8・8％減少しています。これは、1世帯あたり9カ月で30キロ、1カ月で3・3キロ減量したことになります（世帯数4万7600で算出）。

一方、資源は全体で1300・86トン、13・21％増加しています。内訳は紙類が726・16トン、容器包装プラスチックが156・09トン、ペットボトルが26・75トン、その他プラスチックが208・53トン、布が86・42トン、缶・鉄類が77・16トン、瓶が15・94トン、使用済み食用油が3・81トン、それぞれ増加となっています（下表参照）。

目標はごみ15％減

市では燃やせるごみの削減目標を、前年度に比べ分別効果で10％、排出抑制で5％、全体で15％削減としています。収集体制の変更から9カ月で燃やせるごみの収集量を8・8％削減できたのは、分別の効果が高いためと推測され、分別で10％削減するという一つの目標に近づいています。

排出抑制で5％削減を

ごみは分別のほか、排出を抑えることでも減量できます。燃やせるごみには、そのまま捨てられた食事の残りが多く含まれており、ここに減量を進めるもう一つのポイントがあります。

食材の買い過ぎや食事の作り過ぎをしない、生ごみの水切りをするなど、排出抑制への市民のみなさんのご協力をお願いします。

分別Q&A

Q　容器包装プラスチックは、どのようなもの?

A　お弁当やカップ麺の容器、お菓子の包装フィルムなど。

容器包装プラスチックは燃やせるごみに混ぜないで、毎週土曜の収集日に出してください。

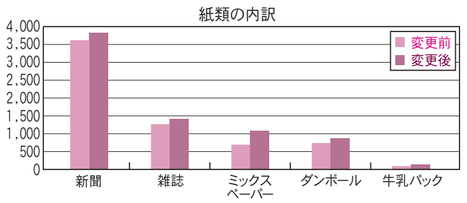
Q　はがきやメモは、どの収集日に出せばいいの?

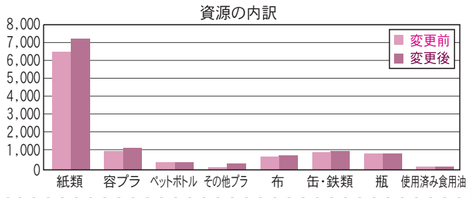
A　はがきやメモなどのミックスペーパーは紙の日に。

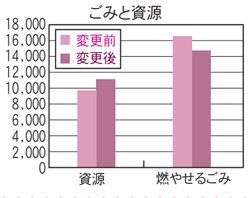
お菓子などの箱もミックスペーパーです。再生可能な紙類が燃やせるごみの中に、まだ2割程度混入しています。

ごみと資源の収集状況

■平成15年10月～平成16年6月（変更前）
■平成16年10月～平成17年6月（変更後）
※いずれの表も単位：トン







市からのお知らせ

受講生募集　えびな環境市民大学

市では、海老名のより良い環境を次世代に引き継ぐため、えびな環境市民大学（講義内容左表）を開講します。

環境について、私たちに出来ることを考えてみませんか。

▽対象・定員　環境問題に関心がある高校生以上の市内在住、在学、在勤の方で毎回出席できる方・30人（応募多数の場合は抽選）。

申　9月25日(月)必着でメールまたは往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、環境保全課へ。

問　同課（☎235・4912）。

えびな市民大学日程・カリキュラム一覧表

日時	会場	内容	講師	備考
10月21日（土）午後1時30分～5時	市役所401会議室	開校式・ガイダンス 地球環境の現状と私たちの課題 ふれあいタイム	千葉大学大学院公共研究センター 上村　雄彦氏	
10月31日（火）午前9時15分～午後4時30分	市内施設など	社家取水堰 高座清掃施設組合 資源化センター		昼食は持参 バスで移動
11月11日（土）午前9時30分～午後3時30分	市内里山	里山づくり体験	日本自然保護協会自然観察指導員 伊藤　健三氏	昼食・飲物は持参 ※雨天11／18
11月25日（土）午前10時～午後2時	中央公民館調理室	エコ・クッキング	東京ガス㈱	
12月2日（土）午後1時～5時	市役所附属棟会議室	町並みウォッチング1 ～海老名の課題に気づく～	ＮＰＯ法人環境学習研究会 谷村春樹氏	※雨天12／3
12月10日（日）午後1時～5時	市役所401会議室	町並みウォッチング2 ～海老名の課題を考える～	ＮＰＯ法人環境学習研究会 谷村春樹氏	
12月16日（土）午前8時～午後6時	東京ビッグサイト	エコプロダクツ見学		バスで移動

※講師の都合等により日程や内容を変更することがあります。　※ふれあいタイムは受講者同士の懇談時間です。

9月10日は下水道の日　「下水道いろいろコンクール」作品募集

下水道は、住みよいまちづくりと、河川・海などの公共用水域の水質汚濁を防ぐために欠かせない公共施設です。

(社)日本下水道協会では、みなさんの下水道に対する理解を深めてもらうため、「下水道いろいろコンクール」を実施します（左表参照）。

▽応募方法　10月27日(金)必着で、市下水道課へ。※入賞者には平成19年3月上旬に通知。

問　同課（☎235・9617）。

◎下水道いろいろコンクール応募要領

部門	対象	応募規定	応募方法
絵画ポスター	小・中学生	B4～A2判以内。ポスターには「9月10日下水道の日」の文字を入れる。	作品の裏面に学校名・学年・氏名を明記。一括応募の場合は連絡先を明記。
作文	小・中学生	400字詰原稿用紙（縦書き）で、小学校低学年は3枚以内、小学校高学年は4枚以内、中学生は5枚以内。原稿は自筆のものに限る。	作品にはタイトルの他に学校名・学年・氏名を明記。一括応募の場合は連絡先を明記。
書道	小・中学生	半紙（縦32.7センチ・横24.3センチ）を縦長で使用。【課題】小学校低学年「下水どう」、小学校高学年「下水道の役割」、中学生「下水道と環境」。※楷書、行書に限る。	作品中の左端に学年・氏名を墨書き。台紙および見返しは付けない。別紙に学校名・学年・氏名・連絡先（住所・電話番号）を明記し作品に添付。一括応募の場合は連絡先も明記。
標語	制限なし	官製はがき1枚または、はがき大の用紙に作品1点。応募点数に制限なし。連名での応募は不可。	住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記。
新聞	小・中学生（グループでの応募も可）	B4判またはA3判～模造紙大。表現方法は自由。下水道の特集または紙面の半分以上に下水道をテーマに取材、編集して紙面構成されたもの。	作品の裏面に学校名・学年・氏名（グループの場合は、グループ名）を明記。

※応募作品は返却しません。入賞作品の版権・使用権・著作権は(社)日本下水道協会に帰属します。

下水道ふれあいまつり開催

みなさんに下水道への関心を深めていただくため、下水道終末処理場施設の一部を開放して開催します。

▽日時　9月9日（土）午前10時～午後4時（小雨決行）▽場所　相模川流域下水道柳島管理センター（茅ヶ崎市柳島1900）▽内容　施設見学会・模擬店・フリーマーケットなど。

問　(財)神奈川県下水道公社四之宮管理センター（☎0463・55・7211）。